

けらるべき資格あるものと認定する。なほ本論文の審査に當りては、審査員教授新城新藏は其教授在職中これに参加したることを附言する。

昭和四年七月

審査員 教授 山 本 一 清
同 桑 原 隲 藏

神 戸 支 部 近 況

幹事 神戸西須磨關守畔 改 發 香 嶋

久しく中絶して居た神戸支部の集會を去八月三日（第一土曜日）午後七時に開催した。會員其他合せて二十六名出席。（神戸支部内及び當市附近の會員諸君に告ぐ。前記の通り毎月第一土曜日を期して例會を拙宅で開きますから成るべく御出席下さい。因に同日は京都の何方かが御出席下さる事になつてゐます。）

同日は京都の中村要氏が出席され、席上、去五月九日スマトラに於ける皆既日蝕の觀測談があつた。珍談あり、奇話あり、失敗談あり、ミ云ふ頗る面白く有益なお話で一同満足した。何分此の頃の暑氣烈しい折柄であるのミ、殊に内輪ばかりの會合であるので、中村氏の諒解を得て、樹間、星を頂く露天に椅子を列べ、シャツ一枚の輕装で、涼風をこりながらの集會で、大へん愉快的會合であつた。

土星や二重星や星團杯の美しい天空上の現象を望遠鏡裡に納れて實地觀測をした。15センチ屈折望遠鏡の對物レンズも此の日漸く完成したので、之れに依つて諸氏の自由觀測にまかせ、又、會員森田氏は業々8センチ反射望遠鏡をかついで出席されたので、之れに依り大へん便益を得、皆大悦びであつた。

七月中には小學校の生徒が百五十名ばかり太陽黑點の觀望に、又月夜は毎夜七八名の觀望者を迎へて可也いそがしい思ひをしたが、愉快に仕事をした事を悦んでゐる。